

全校一斉道徳 「輝く命～悲願の金メダル～馬渕智子物語」

「オリンピック推進事業」の一環で2008年の北京オリンピックの金メダリストである馬渕智子さんが来校されました。2学期の一斉道徳は、馬渕さんをゲストティーチャーにお迎えする形で「輝く命」をテーマに行いました。

ぶれない心

2004年のアテネオリンピックの日本代表選手に選ばれなかった馬渕選手は、4年後、日本代表をつかみ取り、金メダルを手にしました。午前中は、このお話を『馬渕智子物語』と題した弥富中オリジナル教材を作り、各学級で担任による授業を行いました。

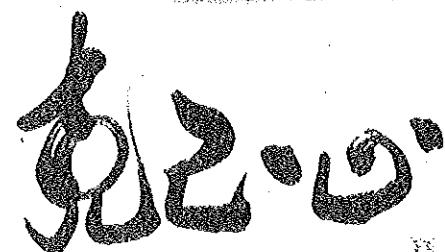
この成功物語から「本当の強さってなんだろう」と考えました。いろいろな意見がありましたが、『諦めない心』『強い意志』と考えた人が多かったようです。講演後に生徒会の子が全校を代表して質問しました。馬渕選手の考える「本当の強さ」は、『ぶれない心』という言葉で表現されました。

馬渕さんのお話から考えたこと

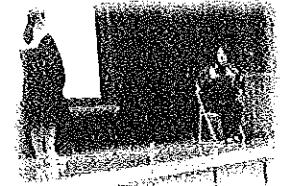
講演の中で印象に残っている言葉はありますか？どんな言葉ですか？「人から言われたり、決めてもらったりしても心が燃えていないと何事も本気になれない」「自分で決める」「努力は不可欠」「1日700スイング」「無駄じゃないかと思うことも何かにつながる」「自分の殻を破って本気になろう」「夢にはパワーがある」

講演後の感想はびっしり書かれていました。馬渕さん本人からお話を聞いて、『馬渕智子物語』はまぎれもない真実として心に迫り、金メダルの輝き以上に馬渕さん自身の輝きを感じとったように思います。

- ☆ 普段からあまり努力をした事がなくて、あきらめてしまう事がたくさんあったけれど、今日、話を聞いて、これから少しずつでも努力をして、自分が絶対無理と思うものも少しでも努力して、「絶対無理」をあきらめる前に少しでもやってみたりして頑張っていこうと思いました。【3年】
- ☆ 私も夢をもとうと思いました。私は夢と聞くと「～になりたい」とか「将来～がしたい」とか遠い未来の大きいことしか思い浮かべられず、私にはそれがなかったので「夢がある人」という質問で手を挙げることができませんでした。しかし、その後の話を聞いて、近い未来の小さな事でも目標みたいなものでもいいんだと分かったので、いつも夢をもっている自分でいようと思いました。【3年】
- ☆ 謹めないことが大切だと改めて感じました。私は嫌なことやできないと思うことはすぐ投げ出してしまうので、金メダルをとるために努力をおしまなかった馬渕さんはすごいと思いました。私もよく緊張するので自信をもって本番に挑めるように練習をしたいです。そして、自信がもてるよう短所と長所を知り、短所を長所に変えたいです。今日の話で「自信」「本気」という言葉が心にとても残りました。毎日何事に対しても努力をおしますに本気を出したいと思います。【2年】
- ☆ 失敗したり悔しい思いをしたり、もうやめようと思っても夢を簡単に諦めるのではなく、しっかりと夢を追い続けること。そして「努力は必要不可欠」という言葉がとても印象に残っています。五輪に出るために毎日700スイングするというのが驚きました。そして、がんばって精一杯努力することで、自信をつけることが大切だと思ったので自分はそこから始めていこうと思えました。【2年】
- ☆ スポーツにたずさわっている人は、大人になってもスポーツだけできていいいなと思っていたけど、そこには努力や苦悩があったりして、やっぱり大変なこともあるということが分かりました。夢をもつと現実と比べて思わず逃げくなったりしてしまうけど、日常を充実させてくれたり、自分を向上させてくれることもあるので夢をもちたいと思いました！！【1年】
- ☆ 最初にオリンピック金メダリストがくるなんてうそだと思っていましたが、金メダルが回ってきたときはびっくりしました。落としそうでとても怖かったけどしっかり見ることができました。



【自分自身（弱い自分）に負けない
『克己心』読めますか？】



3学期もゲストティーチャーをお招きしての全校一斉道徳を行います。テーマは『つなぐ命』

保護者の方にも後日ご案内させていただきます。2月19日（火）午後2時～

